

一般社団法人
兵庫県公認心理師会

Hyogo Society of Certified Public Psychologist

ニュースレター



2025.9
第9号



巻頭言 会長・副会長よりご挨拶

会長 樋口純一郎 / 副会長 富永良喜 安東大起
退任のご挨拶 高田豊司

《特集》命の教育の現場から…

神戸市SC 森真之介先生・福島充人先生へのインタビュー
聞き手 中植満美子

コラム 🏃 マラソン 「私の職場」 #9

ひびきこころのクリニック 山本沙弥香

研修報告

兵公心Café#15

各委員会より

- ①広報委員会より
- ②研修委員会より
- ③SC・教育領域委員会より
- ④医療・産業領域委員会より
- ⑤福祉・司法領域委員会より
- ⑥事務局より

第2期前期理事・監事、代議員名簿
定時社員総会のご報告

巻頭言

第2期前期会長 樋口純一郎（神戸市こども家庭センター）

第1期前期・後期にひきつづき、第2期前期も会長に選任されました。任期は2025・2026年度の2年間となります。就任に際し、当会のこれまでの歩みと展望を以下に述べたいと思います。

「公認心理師の誕生」と「兵庫県公認心理師会の立ち上げ」

2015年9月、心理職にとって悲願の国家資格「公認心理師」が成立し、2019年春には公認心理師有資格者が誕生しました。兵庫県内の公認心理師有志22名でワーキングチームを結成し、2020年4月に「兵庫県公認心理師会」を立ち上げました。2021年4月には一般社団法人化し、第1期（任期4年）の間に会員は215名（2025年3月31日現在）までになりました。



「第1期の歩み」と「今後の展望」

第1期は、①事務局、②広報委員会、③研修委員会、④医療・産業領域委員会、⑤SC・教育領域委員会、⑥福祉・司法領域委員会、6つの委員会を組織し、入会受付や問い合わせ対応、ホームページで研修・求人等の情報発信、ニューズレター発行、年2回の全体研修、年各1回以上の領域別研修（④⑤⑥）等、会の運営が軌道に乗ったといえるでしょう。当会は、長年心理職として勤めている者のほか、教育や福祉、看護等の周辺職種で資格取得した公認心理師の受け皿になりました。そういう意味では、各職場で心理のスーパーヴィジョンを受けられる体制が乏しかったり、自己研鑽の方法や機会が得にくかったり、公認心理師どうしのつながりに恵まれなかったりする会員も少なくないでしょう。

兵庫県公認心理師会では、兵公心Café（会員オンライン交流サロン）のように、地域に根差して公認心理師どうしの交流を活性化し、地域の社会資源やしくみに応じた支援や、兵庫県における職能の拡充をめざした活動や企画を進めています。阪神・淡路大震災からちょうど30年が経過しました。“こころのケア”が社会的に認知された節目の年でもあり、支援者が垣根なく一枚岩になることの大切さを学んだ出来事でもありました。次世代の公認心理師にもその記憶・意志を伝承しながら、日々の支援をひとつずつ積み重ねていきましょう。

学習指導要領改訂論議の現在とこれから

第2期前期副会長 富永良喜（兵庫県教育委員会丹波教育事務所）

次期学習指導要領改訂の親部会・企画特別部会は9月5日で12回となり、論点整理がとりまとめられています。そして三つの方向性を提示しています。第一に、「主体的・対話的で深い学び」の一層の実装を図り、目標・内容の構造化や表形式化、デジタル化により分かりやすく使いやすい指導要領を目指しています。第二に、多様な子供を包摂する柔軟な教育課程を構築するため、義務教育段階に「調整授業時数制度」を新設し、高校段階での柔軟化を検討しています。第三に、情報活用能力を基盤とした探究的な学びの充実を図り、小学校総合学習に「情報領域」を付加、中学校に「情報・技術科（仮称）」を創設する方向性を示しています。さらに、教育の質向上のための「余白」確保、学習評価の改善、カリキュラム・マネジメントや入試改革、特別支援・幼児教育、社会参画教育の充実なども課題とされています。多様な子供とは不登校児童生徒やGiftedの児童生徒などです。不登校児童生徒の特例校の設置がその具体策です。



しかし、全ての児童生徒への不登校・いじめ重大事案・小学生暴力・自傷・自殺を抑止する教育政策の論議は皆無です。OECDやEU諸国等がカリキュラムの中核に置くように推奨している社会情動スキル教育を日本の教育に導入しようという論議はありません。道徳の教科化でそれらはすでに導入されていると委員は考えているのかもしれませんが。

最近、ある高校でWEBストレスチェック（ストレス反応26と対処22）と「試験で実力を発揮するためのメンタルとレーニング」の講義演習を行いました。試験の直前・2か月前の対処、イヤなことを言われた・された時の対処などもWEBストレスチェックで記述してもらいました。試験への対処は問題焦点型・情動焦点型バランスよく記載されていたのに対し、イヤなことを言われた時の対処の問題焦点型対処にアサーションの記載はありませんでした。アサーションという言葉も知らないようでした。また人生で強いストレス(トラウマ)を経験した後に、思いだしてつらい時の対処の記述では、その体験に向き合うため日記を書くや信頼できる人に話をすると書いた対処の記載は僅かでした。私たち公認心理師は、児童生徒の声を代弁し、主体的対話的深い学びの真の実現のためのシステム構築に声をあげる時です。

ご挨拶

第2期前期副会長 安東大起

(一般社団法人パーマナント・クリエイティブ・マインド)

会員の皆様、日頃より兵庫県公認心理師会の活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。この度、副会長を拝命いたしました安東大起と申します。また、それに伴い先日までお預かりしていた事務局長の任をお返しさせていただくこととなりました。副会長として微力ではございますが、本会の発展と、公認心理師の皆様の活動をより一層支援できるよう尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



思えば、公認心理師という国家資格が誕生して早数年が経過いたしました。この間、私たちは心理職の専門性を示す新たな一步を踏み出し、社会における公認心理師の役割は着実に拡大しつつあります。医療、教育、福祉、産業、司法など、多岐にわたる分野で、私たちの専門性が求められる場面が増加していることを日々実感いたします。しかしながら、その一方で、公認心理師としての活動を取り巻く環境は、まだ発展途上であることも否めません。制度の定着、他職種との連携、そして私たち自身の研鑽と倫理の保持は、常に意識すべき重要な課題です。特に、地域に根差した心理支援の充実、県民の皆様の心の健康を支える上で不可欠であり、本会が果たすべき役割は非常に大きいと感じております。

兵庫県公認心理師会は、会員の皆様が安心して、そして誇りを持って職務を遂行できる場を提供することを目指しています。研修会の企画、情報共有の促進、そして会員同士の交流の機会を創出することで、互いに学び合い、支え合えるコミュニティを育んでいきたいと考えております。皆様の声に耳を傾け、本会の活動に反映させていく所存です。心理支援を必要とする方々へ質の高いサービスを提供するためには、私たち公認心理師一人ひとりの専門性の向上と、社会への貢献意識が不可欠です。本会がその一助となれるよう、微力ながら尽力してまいりますので、引き続き皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

副会長退任のご挨拶

第1期後期副会長 高田豊司（関西福祉大学社会福祉学部）

この度、任期満了に伴い、副会長を退任することとなりました。

在任中は、会員の皆様からの温かいご支援とご協力に心より感謝申し上げます。

この数年間、私たちは公認心理師の専門性を社会に広め、その職能を確立するために様々な活動に取り組んでまいりました。研修会の企画運営、会員同士のネットワーク構築など、一つひとつの活動は、皆様のご理解とご参加があってこそ実現できたものです。まだまだ歴史の浅い本会ではありますが、各委員会における研修会の安定的な開催やオンライン交流サロンなどを通して、多くの皆様にご協力いただき、公認心理師としての連帯を強く感じる事ができました。皆様と共に活動できましたことは、私にとって大きな喜びであり、貴重な財産です。この経験を通じて、心理職が地域社会に貢献できる可能性を改めて確信いたしました。

今後の新たな期では代議員として職務を果たしていく所存です。引き続き皆様と共に学び、支え合いながら、公認心理師の職能がさらに発展していくことを心から願っております。

末筆ではございますが、皆様の益々のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。